

「救われるための道」

～私たちは皆生まれ変わらなければならない～

「とっぶり日も暮れたある夜のこと、パリサイ人で、ニコデモという名のユダヤ人の指導者がイエスに会いに来ました。『先生。だれも、あなたが神から遣わされた教師であることを知っております。あなたのなされる奇跡を見ればわかることです。』『そうですか。でもよく言っておきませんが、あなたはもう一度生まれ直さなければ、絶対に神の国に入れません。』

ヨハネによる福音書3章1-3節〔リビングバイブル〕

ある夜、ニコデモというユダヤ人の男性がイエス様の所を訪れました。そして、イエス様と会話を始めました。しかし、突如、イエス様は単刀直入に、「生まれ変わらなければ決して天国に入ることはできない」とおっしゃいました。

イエス様の生涯を書かれた福音書を読んでみると、「永遠の命を得るため、神の国(天国)に入るためにどうしたらよいのか?」という質問が何回もイエス様に対して投げかけられています。これは、永遠に対する人類共通の質問でもあります。私たちはこの世で一生懸命に生きています。しかし、死というものには誰にでも平等に訪れます。“死んだらどうなるのか?”この疑問が、私たちの人生の最終的疑問でもあります。故田中政男牧師の伝記の映画がリバイバルミッションによって制作され、Youtubeで観ることができます。田中少年は材木屋で働いていて、おかみさんから教会に誘われて、教会の礼拝に出席すると100円がもらえるということで出席していました。その内のある日曜礼拝で、ひとつの聖書のみことばが心にとまりました。「人が全世界を儲けても、自分の命を損したら何の得になろうか?」という言葉でした。“自分は頑張って働いて、いつかは自分の材木屋を造り、それを日本一の材木屋にして、いっぱい金を儲けるぞ!”と息巻いていた田中少年。しかし、“たとえお金を儲けても、自分の命を失ったらどうしようもない。自分は一体死んだらどうなるのか?”と神のことばに捕らえられました。それから心を開いて聖書を読み、牧師のメッセージも聞き理解できるようになってきました。そして、自分が罪人であることを知り、救いを求めるようになりました。

このニコデモもやはり、どうしたら救われることができるのか?ということに疑問を感じていました。しかし、彼はイスラエルの教師である、ラビと呼ばれる、人々を導く人物ですから、そんな質問をまともにすることはできませんでしたので、夜密かにイエス様を訪れたのです。

しかし、それに対してイエス様は単刀直入でした。“あなたはラビであり、国会議員でもあり、誰よりも賢く、聖書もよく分かっている人です。しかし、たとえそうであっても、救いは全く別問題なのです。救われるには、神によって生まれ変わらせられる必要がある。たとえ、どんな人物であったとしても、自分の力ではなく、神の力によって変えられなければならない!”と語られました。“では、どうしたらよいのか?”“わたしを信じなさい!”とイエス様は続けて語られます。それがヨハネ3:16でした。

「実に神は、ひとり子をさえず惜しまず与えるほどに、この世界を愛してくださいました。それは、神の御子を信じる者が、だれ一人滅びず、永遠のいのちを得るためです。」

〔リビングバイブル〕